

少女ムシエット (1967)

MOUCHETTE

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 80分

初公開日 1974/09/21

公開情報 エキブ・ド・シネマ

映倫 PG12

リバイバル 1995/06 [フランス映画社]

2020/10/30 [コピーアポア・フィルム=lesfugitives] (4 K リストア・デジタルリマスター版)

【解説】

14歳のムシエット。家庭の貧困と父の暴力と、同級生の豊かさと美しさ、そして土曜の午後のカンタータの練習に痛めつけられる少女。森番の洩らす秘密を知って、約束を守ると誓ったのに犯されてしまう無垢な肉体。しかし、その秘密すらただの幻影に過ぎなかったと分かって、少女は完全な孤立を味わう。そんな彼女に残された選択は……。ブレッソンが、「田舎司祭の日記」の原作者G・ベルナノスの小説を、自ら脚色して映画化、虫ケラのような少女の生に永遠の真理を見つけ出す。胸の詰まるような厳しいショットの積み重ねの中で、少女が移動遊園地のバンピング・カーで遊ぶシーンの、微かな解放感が忘れられない。

【クレジット】

監督	ロベール・ブレッソン	Robert Bresson
製作	アナトール・ドーマン	Anatole Dauman
原作	ジョルジュ・ベルナノス	Georges Bernanos
脚本	ロベール・ブレッソン	Robert Bresson
撮影	ギスラン・クロケ	Ghislain Cloquet
編集	レイモン・ラミ	Raymond Lamy
音楽	クラウディオ・モンテヴェルディ	Claudio Monteverdi
	ジャン・ウィエネル	Jean Wiener
出演	ナディーヌ・ノルティエ	Nadine Nortier
	ポール・エベール	Paul Hebert
	マリア・カルディナル	Maria Cardinal
	ジャン＝クロード・ギルベール	Jean-Claude Guilbert
	ジャン・ヴィムネ	Jean Vimenet
	マリーヌ・トリシェ	Marine Trichet